

科 目 名	病弱者の心理・生理・病理(教職特支)					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	利 光 恵・久 野 建 夫						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講では病弱者の心理的特性と生理、病理に関する理解を深め、自立活動への応用のあり方を概説する。 (心理) 心理特性の諸相について一般的な特性に加え、知的障害、肢体不自由を併せ持つ病弱者の特性について学び自立活動への応用の視点を概説する。 (生理・病理) 病弱者の自立活動、指導法を理解するために必要な生理・病理の知識を学ぶ。						
授 業 の 到 達 目 標	(心理) 1. 病弱者の認知、言語、社会性、運動発達、知能などの一般的特性について説明できる。 2. 知的障害、肢体不自由を併せ持つ病弱者の心理特性について述べることができる。 3. 1と2を踏まえ病弱者の自立活動への応用を説明できる。 4. 病弱であることが彼らの心理面にどのような影響を及ぼすか説明できる。 5. 病弱者の自尊心形成過程について興味・関心を持つようになる。 (生理・病理) 1. 病弱者虚弱者の就学基準、自立活動について説明できる。 2. ペアレントトレーニングの基本について例を挙げて説明できる。						
学 習 方 法	(心理) 前半は講義形式による説明を行い、後半は講義の内容を深めるためにビデオ視聴及び実技指導を行う。 (生理・病理) 資料に基づく学生との討議、DVD教材ワークシートに基づく討議、PBL形式の授業						
テキスト及 び参考書等	(心理) 適宜資料を配付する。 (生理・病理) 特別支援学校学習指導要領自立活動編 文部科学省						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○		◎	50		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	○	◎	30		
授業態度		○	◎		10		
受講者の発表							
授業への参加度		○	◎		10		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	病弱者の運動発達と認知的特性とその理解						
第 2 週	知的障害、肢体不自由を併せ持つ病弱者の運動発達と認知的特性とその理解						
第 3 週	病弱者の言語発達特性とその理解						
第 4 週	知的障害、肢体不自由を併せ持つ病弱者の言語発達特性とその理解						
第 5 週	病弱者の社会的・対人的発達特性とその理解						
第 6 週	知的障害、肢体不自由を併せ持つ病弱者の社会的・対人的発達特性とその理解						
第 7 週	病弱者の心理的側面への具体的指導について (1)						
第 8 週	病弱者の心理的側面への具体的指導について (2)						
第 9 週	病弱者の教育 (1) 就学基準、自立活動						
第 10 週	病弱者の教育 (2) 特別支援学校及びそれ以外の場での指導						
第 11 週	応用行動分析の病弱教育での応用 (1) ペアレントトレーニング						
第 12 週	応用行動分析の病弱教育での応用 (2) 随伴性、強化、消去						
第 13 週	応用行動分析の病弱教育での応用 (3) 強化スケジュール						
第 14 週	応用行動分析の病弱教育での応用 (4) 弱化						
第 15 週	応用行動分析の病弱教育での応用 (5) 事例						
第 16 週	まとめ (試験を含む)						
備 考	○第1～8回 (心理：担当は利光) 前期開講 ○第9～15回 (生理・病理：担当は久野<建>) 後期集中						